

早稲田大学GRC

子どものウェルビーイング研究拠点

第1回シンポジウム

共催：第11回小児神経の倫理を語らう会

現場の問いを、社会の問いへ。

異なる立場で、共に考える

日時：2026年12月20日(日)10:30-16:30

場所：早稲田大学 早稲田キャンパス8号館408教室(4階)

〔参加対象〕 専門職(医療・心理・福祉・教育等)、研究者、学生、
その他(お問い合わせください)

〔参加費用〕 無料、参加証あり

〔参加申込方法〕 右記QRコードまたは
こちらの申込フォームよりお申し込みください。
<https://forms.cloud.microsoft/r/V5xVcHasq9>



〔申込期間〕 2026年10月3日(土)~12月6日(日)

申込者多数の際には、抽選とさせていただきます。予めご了承ください。

※プログラム詳細は裏面をご覧ください。

〔開催趣旨〕

重篤な疾患や重度の障害をもつ子どもたちは、自らの意思や経験を表明することが難しく、その声が社会に届きにくい、きわめて脆弱な立場に置かれます。最も声を持ちにくい子どもたちを起点に考えることは、社会の側にその経験を受け取り、責任を引き受け、応答する力があるのかを問うことでもあります。

本シンポジウムでは、医療・福祉・心理・教育・研究などの専門職に加え、学生も一般市民の視点を持ち寄り、現場にある問いや葛藤を共有します。一方向的に知識を学ぶのではなく、個々の子どものリアリティを見つめ、支援から制度・社会・価値観へと視野を広げ、そこに通底する問題構造を共に考えます。

この対話が、子どものウェルビーイングの向上に向けた研究・実践、そして社会変革へとつながっていくことを願います。

〔主催者メッセージ〕

早稲田大学GRC子どものウェルビーイング研究拠点では、6つの研究班が異なる視点から子どものウェルビーイング向上に取り組んでいます。年に一度の総合シンポジウムでは、その領域を越えて問いと知見を共有します。

今年度は第11回「小児神経の倫理を語らう会」と共催し、同会が培ってきた、専門や立場を越えて現場の問いを語り合う場を、6班合同の対話へとひらきます。

[プログラム]

当日の参加人数等の事情により、若干の変更がある場合があります。予めご了承ください。

タイムテーブル	概要	登壇者
10:30-10:40	開会の挨拶	岡崎 伸 大阪市立総合医療センター小児神経内科 「小児神経の倫理を語らう会」実行委員長 笹月 桃子 早稲田大学人間科学学術院 早稲田大学GRC 子どものウェルビーイング研究拠点 拠点責任者
10:40-12:00 (80分)	事例検討(group discussion & share) ①	新津 健裕 (総合司会) 埼玉県立小児医療センター集中治療科 岡崎 伸
12:00-12:40	昼食	(お弁当申し込み制あり)
12:40-13:10	ミニ講義① ・ 出生前検査の現状と課題 ・ 医療的ケア児を育てるということ	横野 恵 早稲田大学社会科学部 里 龍晴 長崎大学病院 小児科 山崎 麻朱 順天堂大学医療看護学部
13:10-14:10 (60分)	事例検討(group discussion & share) ②	新津 健裕 岡崎 伸
14:10-14:25	休憩・交流	
14:25-14:50	ミニ講義② ・ 代理意思決定におけるフィクション性という難問 ・ 医療・在宅・社会の連携	板井孝壱郎 宮崎大学医学部医療倫理学分野 室岡明美 九州大学病院医療連携センター, MSW
14:50-15:30 (40分)	事例検討(group discussion & share) ③	
15:30-16:10	コメント	松岡真里 三重大学大学院医学系研究科看護学専攻 森岡正博 早稲田大学人間科学学術院 他
16:10-16:30	振り返りミニ講義③ 15-20分 ・ 倫理的議論の多層性 - 子どもを守ることと家族を支えること - 現場の問いを、社会の問いへ	笹月桃子
16:30-16:40	閉会の挨拶	笹月桃子
16:40-18:30	居残り議論タイム	参加希望者 (同会場にて軽食提供あり)

〈主催〉早稲田大学GRC 子どものウェルビーイング研究拠点 (代表: 笹月 桃子)

〈共催〉「小児神経の倫理を語らう会」実行委員会 (委員長: 岡崎 伸)

[お問い合わせ]

早稲田大学GRC 子どものウェルビーイング研究拠点 (事務担当: 安部)

連絡先: toko-shohei@list.waseda.jp